別紙様式１

令和７年度　指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立産業観光交流センター	施設所在地	徳島市山城町東傍示1-1
指定管理者名	一般財団法人徳島県観光協会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	交流拠点戦略課施設活用推進室	【連絡先】	088-621-2132

１　施設の概要

設置年月日	平成5年10月20日
設置目的	活力ある地域づくりの拠点として、人、もの、情報等の交流を促進し、本県産業の発展と観光等の振興に寄与することを目的とする
施設内容	多目的ホール、会議室、特別室、多目的広場、駐車場
利用料金等	施設毎の利用料、駐車場利用料、冷暖房使用料等
開館日・休館日等	毎月第３火曜日

２　指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・施設の運営業務 ・施設の維持管理業務 ・利用の許可に関する業務 ・使用料の徴収に関する業務 ・アスティおどりひろばの実施に関する業務 ・利用促進業務など、その他管理運営に関し必要な業務

３　施設の管理体制

管理体制	正職員　9　名　嘱託職員等　4　名　計　13　名（うち兼務 4名） ・館長（１名）：館の運営業務統括、誘致 ・総務管理課（５名※うち２名兼務）：総務業務の統括、施設修繕・設備等管理業務、予算・決算業等総務業務 ・事業企画課（８名※うち２名兼務）：施設運営業務の統括、誘致、予約受付・審査、使用料徴収業務、自主事業、主催者・関係機関との調整 ※総務管理課兼務２名は、一般財団法人徳島県観光協会企画総務課が本務。 ※事業企画課兼務１名は、同協会観光・コンベンション振興課が本務。 ※事業企画課兼務１名は、同協会総務管理課が本務。

４　施設の利用状況

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
利用状況（日）多目的ホール	Ｒ７年度	23	15	24	24	19	13	19	16	17	11	17	22	220
	前年度	15	13	29	18	20	9	14	28	11	13	17	26	213
	前々年度	16	16	23	10	22	18	24	28	10	15	12	22	216

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
利用状況（日）会議室合計	Ｒ７年度	55	63	85	95	112	84	98	79	79	77	109	99	1,035
	前年度	57	85	94	88	82	101	123	99	66	83	121	97	1,096
	前々年度	77	81	98	97	107	92	98	103	81	60	136	110	1,140

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
月別使用料収入（千円）※県の歳入	Ｒ７年度	5,482	6,980	5,955	9,966	15,081	13,571	9,350	13,287	9,573	10,364	9,231	10,421	119,261
	前年度	8,307	5,714	5,761	12,037	13,070	6,091	12,488	9,041	8,239	6,416	10,179	10,657	108,000
	前々年度	5,887	6,435	9,684	8,067	7,756	14,786	10,028	7,901	11,921	9,109	10,133	9,302	111,009

		多目的ホール・会議室等	駐車場	計
施設毎使用料収入（千円）※県の歳入	Ｒ７年度	91,502	27,760	119,262
	前年度	78,488	29,512	108,000
	前々年度	81,494	29,520	111,014

５　収支の状況

（単位：千円）

項　目			令和７年度	令和６年度（前年度）	令和５年度（前々年度）
収入	指定管理料		271,990	267,410	272,700
	光熱費補填【特殊】		7,743	13,166	10,776
	自主事業収入		0	0	0
	その他		1,781	3,000	7,483
	計		281,514	283,576	290,959
支出	固定費	人件費（常勤）	57,122	53,027	53,552
		人件費（臨時・アルバイト等）	0	0	0
		光熱水費	66,051	62,938	58,443
		事務所運営費	8,921	10,271	10,107
	運営費		9,313	14,435	23,105
	維持管理費	清掃費	24,666	23,971	23,971
		施設警備費	7,842	7,340	6,745
		施設運転等管理費	25,748	25,023	25,023
		建築物・工作物・備品等維持管理費	0	0	0
		植栽管理費	3,424	3,644	2,872
		メーカー等発注業務費	16,813	15,139	14,787
		その他の業務費	28,506	25,095	27,988
		ときわプラザ(フレア)負担分	△ 6,478	△ 7,432	△ 5,640
		修繕費	27,632	28,888	28,830
	その他		7,362	16,152	16,648
	計		276,922	278,491	286,431
収支			4,592	5,085	4,528

※項目は、事業報告書等に合わせて、適宜、変更すること。

※計画額や予算額との乖離が大きいもの、費目の内訳が分かりにくいもの等、詳細な説明が必要な場合には、別途、説明の追加や参考資料の添付など確認可能な形とすること。

６　コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・閑散期や繁忙期を考慮した職員のローテーション勤務や、日々の勤務時間についても催事の開催準備・撤去に応じた時差出勤を行うことで、引き続き人件費抑制に取り組んでいる。 ・クールビズ・ウォームビズに取り組んでいる。 ・ＬＥＤ照明器具の更新、省電力タイプ機器の導入、雨水タンク設置による植栽散水など、省エネ対策を図っている。 ・館内トイレの人感センサー式照明・自動水栓への更新 ・太陽ソーラー街路灯の設置 ・発電機Vベルトの省エネタイプ交換
サービス向上の取組	・催物案内を毎月約800部作成し、広報活動に努めている。 ・主催者・利用者アンケートの要望を、管理運営に速やかに反映するように努めている。 ・利用者サービスの向上に向け、館内ＬＡＮ回線の更新、ときわプラザとの連携、予約管理システムの改良などを行っている。 ・また、主催者との協議の上、深夜の搬出入作業時の騒音対策、大規模催事における渋滞緩和のための巡回や事前周知等に取り組んでいる。 ・パーク テレコメディアとの連携（会議室満室時の相互案内） ・地元FM放送局やSNS（X）を活用した駐車場混雑状況の発信 ・22時以降の搬入扉閉鎖などの夜間騒音対策の実施

７　自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・ドローンレース（小学生以上対象に開催） ・阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧 ・ふれあい広場等を活用した観光情報発信 ・SDGs推進施策 ・徳島ヴォルティスパブリックビューイング など、施設の利用促進はもとより、地域のにぎわい創出や地元阿波おどり団体など出演団体等の活性化につなげるとともに、県や市町村・市町村観光協会と連携し、観光情報発信の場を提供し、地域の観光振興を図っている。

８　管理運営業務に係る点検・評価

項　　目	評　価	点　検　結　果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・主催者アンケート、来場者アンケート、ＨＰアンケートを実施している。 ・催物案内を毎月約800部作成・配布し、誘致・広報活動に努めている。 ・主催者アンケートの要望を管理運営に速やかに反映するように努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・予定通り実施している。 ・特に、徳島ヴォルティスパブリックビューイングやドローンレースは、参加者から好評を頂いた。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・年間の作業計画に基づき、適正に維持管理を実施している。 ・備品を新規調達した際には県に報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	・光熱費高騰の影響は大きいが、県による補填、こまめな節電により収支がマイナスになることは回避できている。 ・軽微な修繕は職員で対応することで、経費の削減に努めている。 ・使用料収入はコロナ禍以前に戻っているとは言えない。引き続き、誘致に取り組む。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・職員の技術力や能力育成のため、適宜、研修会を実施している。 ・セルフモニタリングは、月次報告と併せて、報告している。引き続き、来館者へのサービス向上につなげていく。 ・使用料の徴収・減免については、適正に実施できている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・職員の労働条件について、適切に管理している。 ・職員が参加を希望した研修等について、なるべく参加できるようローテーションなどの調整を行っている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員退職に伴う正規職員追加採用は、地元の人材派遣会社に依頼し、地元出身者を雇用するよう努めている。 ・技術的な制約がある場合を除き、外部委託業務については、県内業者（協力法人）への発注に努めている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・各経済団体や郷土芸能団体、阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会と連携し、県内経済の発展及び郷土芸能のPRを行っている。 ・各市町村観光協会と連携し、各地のＰＲ活動の支援を行っている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・防災、火災等のマニュアルを作成し、職員へ周知をしている。 ・年２回、消防訓練を行っている。 ・多目的ホールの主催者に対する災害時避難誘導体制シートの事前作成・周知

項　　目	評　価	点　検　結　果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・環境への配慮として、ＬＥＤ照明など省電力機器の導入に努めている。 ・野生の犬、猫の餌やりを抑止するポスターの掲示をし、近隣住民や施設利用者への配慮を行っている。 ・災害用の備蓄品をローリングする際、社会福祉協議会へ寄附することで、フードロス削減につなげている。 ・徳島SDGsパートナーへの登録 ・ソーラーパネル設置による太陽光発電の活用
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令を遵守し、徳島県情報公開条例に基づく情報公開に関する規程を設けている。 ・Ｒ７年度は案件なし。
総合評価	A	・概ね適切な貸館業務を行っている。 ・使用料収入はコロナ前の水準には戻っておらず、さらなる努力が必要ではあるが、利用者を呼び込むために、コロナで一度離れたリピーターの呼び戻しや、他県類似施設でのイベント主催者へのＰＲなど、積極的な誘致活動に取り組んでいる（全国展示場連絡協議会への参加、MICE EXPO 2025等への参加を通じたコンベンション主催者等のキーパーソンへの開催要請）

〈評価指標〉　Ｓ：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
Ａ：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
Ｂ：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
Ｃ：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※　項目については、事業計画書と整合性をはかる。

９　その他（今後の課題及び対応等）

・開館から約３０年が経過し、建築物及び設備の老朽化が目立っている。長期的な修繕計画に基づき施設運営を行うことで、施設の長寿命化を実現させる必要がある。
・本県の「産業と観光」を拡大させる施設として、引き続き誘致活動に力を入れていく必要性がある。